

季節風

2017. 4. 21

NO.3

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

「しあわせ運べるように」

復興への願いを込めて

四月十六日（日）、PTA総会が行われました。保護者の皆さま、「多用の中、ご来校いただきありがとうございます。」

総会は、熊本地震から、一度一年がたった日に行われました。そこで、生徒会執行部は、被災された方々、生活再建途上の方々に元気を届けたいと、全校生徒による「しあわせ運べるように」の手話をつけた合唱を行おうと提案してくれました。約一ヶ月間、練習を重ね、十六日には、全校生徒で、保護者の皆さまに「しあわせ運べるように」を、気持ちを込めて届けることができました。私は、生徒が自分たちで震

災から一年たった日をどう受け止めていくのかを考え、行動に移していったことに、うれしさとともに、確かな成長を感じました。

生徒会長は、「この取組は復興や生活再建が終わったと言える日まで続けていく」と、力強く話してくれました。

中学生として、中学生だからできることが、まだまだたくさんあります。その一つ一つに対して、「こだわりをもつ」ことで、多くの方々に思いを届けることができるはず。中学生が、鹿北を、熊本を元気にしていく、そんな鹿北中学校の姿、役割が見えてきたことに、期待感が大きくふくらんできました。



見て見ぬ振りをする、しない？

4月中旬のある日の昼休み、一人の生徒が校長室に来て、「校長先生、1階のトイレの水が止まらなくなっています。来てもらえませんか。」と言いに来ました。さっそく行ってみると、確かに水が流れっぱなしになっていた。坂口先生、森先生とともに応急処置をしました。

その時、私は生徒が言いに来てくれたことで、何となくホッとしている自分に気づき、どうしてなのかを考えてみました。

最近の世の中の風潮として、「見て見ぬふりをする」人が多い中、この生徒は、「見て見ぬふりをしなかった」ことがうれしかったのかなと思いました。

私たちの毎日の生活の中には、同じように「見て見ぬふりをするのか、しないのか」という選択にせまられる場面が実はたくさんあります。「ゴミが落ちていている時」、「掲示物がはがれている時」、「トイレのスリッパが並んでいない時」・・・など。そんな時に、自分はどうの行動をとるのだろうかと考えました。みなさんはどうですか？

見て見ぬ振りをしなかったこの生徒は、たぶん誰かが困っていたら、そのままにせず、きっと声をかけることができる生徒だと思います。そんな風に思えたことがうれしかったのだと思いました。

全国学力・学習状況調査

十八日（火）、全国学力・学習状況調査が行われました。

三年生が真剣に問題に取り組む姿が見られました。午前中四時間がテスト、午後はアンケート記入と気持ちが休まることはなかったと思います。結果を分析し、これからの自分の学習の生かすことが何より大切なことだと思います。

避難訓練

十九日（水）の四校時、火災発生を想定した避難訓練を実施しました。調理室から出火、全員がグラウンドに避難しました。人員を確認し、報告するなど、万が一の場合に備えることができたと思います。消防の方々より、消火栓があるので、消火栓の使い方を知った方がよいこと、火災発見時には、大きな声を出すこと、出席・欠席人数を確実に把握するため出欠黒板への記入を早くすることなど、私たち教職員に対しても、アドバイスをいただきました。今後の学校生活にしっかりと生かしていきます。

